

# 春高同窓会だより

平成17年5月18日  
第 35 号  
春日部高等学校  
同窓会事務局  
発行 荒木 貞行  
編集 中村 行生  
春日部市粕壁5539  
直通048 760 1627  
FAX048 760 1628  
印刷 望月印刷(株)  
さいたま市中央区円阿弥5 8 36

同窓会ホームページ  
www.os.rim.or.jp/ kasukoga  
メールアドレス  
kasukoga@os.rim.or.jp

## 「自然治癒力」も訴えて

### 周東寛さん(高24回)が講演

今年の同窓会総会は、恒例の6月4日曜・6月26日に、本校音楽ホールで開かれる。総会幹事支部と招待学年の準備会が2月19日に開かれて、たくさんの方々に出席していただけるよう具体的な方法を協議した。



講師の周東寛さん

## 6月26日(日)に

### 今年の同窓会総会

〔日時〕平成17年6月26日(日)  
午後2時～6時  
今年から午後2時開始になりました  
〔会場〕本校音楽ホール、他

〔講演〕「生活習慣病と生活環境病について 真の健康と医療とは」講師/周東寛さん(高24回、医学博士)  
〔懇親会費〕自己負担3千円(招待者は除く)  
〔参加申込〕同封のハガキでこの総会には「第16回ホーム・カミング・デー(母校に帰る日)」として、次の学年が招待される。卒業後50年の高

8回と定時制8回・岩槻分校普通科4回・同別科2回、それに今年50歳の高26回と定時制26回、さらに今年40歳の高36回と定時制36回の皆さん。また、平成16年度の賛助金納入の2百13人。ささやかだが記念品を差し上げて、懇親会にご招待する。ぜひ大勢の方のご出席をお待ちしています。昨年は、総会幹事支部と招

#### 【平成16年度同窓会会計決算報告(案)】

期間：平成16年4月1日～同17年3月31日  
歳入総額 13,003,634円  
歳出総額 11,194,043円  
差引残高 1,809,591円(次年度へ繰越)

項目	予算額	決算額	摘要
会費	4,980,000	4,718,000	新卒393名 一般77名 年会費(1,000円)18名
入会金	868,000	836,000	全393名 定25名
賛助金	1,000,000	2,240,000	215名
寄付金	100,000	141,000	並木様、高2回、オハラ等
グッズ売上	1,500,000	1,496,000	春高グッズ等
雑収入	50,000	73,669	コピー代、シール代等
繰越金	3,498,965	3,498,965	
合計	11,996,965	13,003,634	

項目	予算額	決算額	摘要
事務費	2,460,000	2,390,783	通信費、人件費等
会議費	220,000	95,019	総会、HCD等
事業費	5,820,000	5,866,973	総会費 1,025,528円 新会員 252,000円 支部費 253,570円 新聞 3,243,480円 展示室 465,895円 在校生 626,500円 弔電代、教職員饗別等 春高グッズ
慶弔費	150,000	150,894	次年度以降のために
グッズ製作	1,000,000	1,059,377	振替手数料、他
積立金	700,000	700,000	メンテ料、他
雑費	350,000	291,378	
予備費	1,296,965	639,619	
合計	11,996,965	11,194,043	

今後、会計監査をへて、役員会と総会で審議していただく  
HCD=総会時のホーム・カミング・デー

## 新会長に荒木さん



荒木貞行新会長

昨年の同窓会総会で役員改選が行われて、次のように本部役員が選出された。昭和43年から33年間副会長を務め、平成13年から会長を務めた川

- 島秀治さんが一身上の都合で勇退されたので、その後任として副会長だった荒木貞行さん(高3回)が会長に就任した。
- 〔同窓会本部の新役員〕
- 敬称略、印は新任
- 名誉会長 野中 英二 (中38回、加須市)
- 会長 荒木 貞行 (高3回、春日部市)
- 副会長 藤波 篤郎
- 副会長 草加市 (高2回)
- 副会長 服部 昭 (高4回、久喜市)
- 副会長 細田 英明 (高5回、野田市)
- 副会長 細井 欽作 (高11回、白岡町)
- 副会長 真々田富男 (高13回、さ市岩槻区)
- 副会長 佐久間 健 (高14回、さいたま市)
- 副会長 小泉 匡男 (高14回、春日部市)
- 副会長 種村 隆久 (高27回、春日部市)
- 副会長 岩本 敏英 (高33回、越谷市)
- 会計監査 中村 正男 (高7回、越谷市)
- 会計監査 荒谷 拓男 (高8回、春日部市)
- 事務局長 中村 行生 (高5回、幸手市)
- 顧問 三枝安茂ほか13名
- 常任幹事 各支部から百8名
- 〔荒木貞行会長の略歴〕昭和6年東京浅草生まれ。同20年空襲で罹災。春日部市に移住し、旧制粕壁中学校に入学し、中高6年間の教育を受ける。陸上部駅伝メンバーとして関東大会出場。東京大学経済学部を卒業後、教職に就き、同60年から2年間母校教頭を務め、平成4年春日部女子高校長を退職。「春日部高校百年史」編集副会長。同13年から同窓会副会長。春日部市八丁目に在住。

#### 荒木貞行会長の話

36年の長期間にわたって本会及び母校の発展にご尽力な

待学年の役員の皆様のご尽力で、過去最高に近い2百87人もの出席があつて、盛大な総会となった。懇親会は、昨年と同じように、榮譽者と旧制中卒業の方々はイスに座つていただき、他の人は立食形式でお願ひすることになった。総会に出席される方は、出席者名簿や名札等の準備がありますので、この新聞に同封している「返信用はがき」で、ご連絡をお願いいたします。

#### 遊馬画伯が 絵画を寄贈

中39回の遊馬正画伯が、このほど絵画を同窓会に寄贈された。同画伯は昭和34年から36年間ニューヨークの画壇で活躍した人。平成7年に帰国し、さいたま市岩槻区に在住。作品はF15号でニューヨーク郊外の湖を描いたもので、展示ギャラリーに展示されている。鮮やかな色彩と大胆な構図で多くの人を魅了している。

# 母校の今年度人事異動

## 転退職の教職員(敬称略)

《全日制》  
金子英敏(国語・高21回) 幸手商高へ  
吉開知治(社会) 大宮武蔵野高へ  
川田正之(化学) 大宮工高へ  
和田照夫(生物・高32回) 草加西高へ  
新井滋(英語) 北川辺高へ  
片野秀樹(数学) 上尾高へ  
須藤玉江(国語) 大宮東高へ  
宇賀正子(養護) 越谷北高へ  
張替奈緒(実習助手)羽生高へ  
尾池昭恵(事務) 杉戸農高へ  
赤根雅実(事務) 久喜工高へ  
石井宙樹(業務) 庄和高へ  
細田賢吾(業務) 草加高へ  
竹田和広(保体) 本庄北高へ

《定時制》  
本島毅(英語) 定年退職  
竹内一宏(数学)任期満了退職  
押田和彦(保体) 宮代養護へ  
大塚ひろみ(国語) 川口高へ  
鈴木薫(書道) 草加南高へ  
横山かおり(事務)幸手商高へ  
新任の教職員(敬称略)

加藤友信(情報・高29回) 不動岡高から  
星武(国語) 草加西高から  
栗子正博(化学) 越谷総合技術高から  
島根輝人(英語・高35回) 八潮高から  
関口恭子(国語) 幸手高から  
熊中陽子(数学)越谷北高から  
隈元忠義(保体)上尾沼南から  
金子明美(養護)越谷西中から  
増井高之(実習助手) 浦和一女高から  
三沢朝実(事務) 東部教育事務所から  
竹中かおり(事務)杉戸高から

森文雄(業務) 越谷北高から  
籠宮慎吾(業務)鴻巣女高から  
近藤俊子(英語・元春高教諭) 再採用  
岩本太一(情報) 新採用  
《定時制》  
中嶋芳江(国語) 八潮高から  
戸村巨之(英語) 久喜高から  
中内充(保体) 八潮高から  
煤田貴志(数学)越谷東高から  
大塚弘美(事務)浦和高定から  
岩本太一(保体) 新採用  
《全日制》  
鈴木誠(英語・高30回) 明海大学へ

八潮春高会総会 16人  
16年5月22日 華宝  
幸手春高会総会 25人  
16年5月29日 ときわや  
大宮支部総会 50人  
16年6月5日 清水園  
荒井修二先生の講話  
宮代春高会総会 44人  
16年6月6日動物公園GS  
上尾・伊奈支部総会 30人  
16年6月6日 ショーサン  
春風亭朝佐久の落語会  
吉川支部総会 23人  
16年6月26日 福寿家  
岩槻支部総会 54人  
16年7月11日 イグレッタ  
三次宣夫(18回)さん講話  
川島秀治前会長慰労会60人  
16年7月17日 岩槻市耐又

蓮田春高会総会 28人  
16年9月12日 米屋  
鷺宮春高会総会 20人  
16年9月25日 西コミセン  
県庁春高会総会 70人  
16年10月8日ワシントンH  
白岡支部記念総会 36人  
16年10月17日 米屋  
三遊亭楽花生と春風亭朝佐  
久の合同落語会  
野田支部懇親会 45人  
16年10月23日 紫乃  
永瀬好邦(高8回)さん講話  
葛浦春高会総会 12人  
16年10月24日 大浜  
浦和・与野春高会総会 25人  
16年10月24日 別所沼会館  
小原敏彦(高10回)さん講話

春日部春高会総会 42人  
16年11月6日 やまや新館  
北海道春高会総会 13人  
16年11月6日 グランドH  
東京春高会総会 57人  
16年11月12日KKRホテル  
宮代春高会第2回美術展  
16年11月20日 28日  
宮代町立図書館 出品15人  
松伏春高会総会 16人  
17年2月27日 石塚家  
春風亭一之輔の落語会  
草加春高会総会 40人  
17年4月24日 文化会館  
久喜春高会総会  
17年5月14日 ニュー八雲  
三遊亭楽花生の落語会  
八潮春高会総会  
17年5月14日 やぶそば

## 各地で春高会、支部会

## 明、東理、早がまた百台

### 大学入試 現役合格率が65%

今春の大学入試で、明治に133件、東京理科に117件、早稲田に104件と昨年に続き3大学の合格件数が百

の百台に乗ったことが注目される。一方、国公立大にも現役勢が昨年より7件増と健闘している。国公立大の難関

校があまり増えないのは、現役で大学に入りたいたいという安定志向が要因なのだろうと思う。だが現役合格率が約65パーセント、入学率も約60パーセントと望ましい方向にきている」と、進路指導の吉開知治・前主任は分析している。

【現役浪人合格件数】  
( )内は現役数  
《国公立》 北海道3(1) 東

北4(1) 宇都宮6(3) 群馬3  
(2) 茨城3(1) 筑波8(5) 埼玉28(19) 千葉15(6) 東京4(2)  
一橋3(2) 東京工業6(5)  
東京外語3(2) 東京海洋4(1)  
東京学芸9(5) 東京農工5(4)  
電気通信5(3) 横浜国立8(4)  
大阪2(1) 島根2(2)  
県立2(1) 首都東京(旧都立等)9(7) その他11(4) 合計143(81)

《私立》 明治132(69) 東京理科117(53) 早稲田104(41)  
日本65(25) 立教58(29) 法政56(26) 中央56(36) 芝浦工業40(15) 上智25(14) 慶応21(13)  
東洋20(7) 東京電機18(11) 獨協18(7) 成蹊17(9) 東京農業15(9) 文教14(9) 駒沢11(4) 学習院10(6) 立命館10(2) その他157(75) 合計1112(46)

## 同窓会費(旧終身会費)納入の方々

同窓会費(旧終身会費) 1万円納入者(敬称略) 16年4月1日~17年3月31日  
《伊奈》 関根幹夫  
《さいたま市岩槻区》 石田一成、上野善裕、金子栄、田中和彦、田中実、長谷川正  
《春日部》 石井康俊、上泉道子、内ヶ崎雅則、大塚栄一、

小川敏夫、黒須利郎、蒲木徹野口浩、矢島春信、吉川達雄  
《加須》 関根暁史、関根俊一  
《上福岡》 飯山貞江  
《川越》 川村良一  
《川口》 鈴木孝平  
《北本》 吉澤幸男  
《久喜》 鈴木浩之、橋本和生  
《古河》 小川伊勢雄

《越谷》 大熊康夫、小西智恵子、関根律夫、堀内俊夫  
《さいたま》 荒井孝、石田耕司、上野秀人、大館福二、大沼恒久、鬼久保保久、加藤隆夫、酒巻久衛、新藤信夫、関則夫、滝川武則、戸張晴巨、野中辰雄、堀内秀志、松本竜一、若林良一  
《幸手》 芦塚健一、大久保利一、金子堯爾  
《庄和》 岩瀬正吾  
《杉戸》 江森孝、斎藤力、堀

川重成  
《草加》 石井孝、井出健二郎  
鈴木音吉  
《羽生》 斎藤秀吉  
《松伏》 石川幸生、斎間孝一  
《横浜》 小川佳宏、奥村一光  
《吉川》 荒井智  
《鷺宮》 白石昌之  
《茨城》 大沢理  
《愛媛》 小幡博明  
《静岡》 大木由基男  
《千葉》 嶋根明、鈴木光男

《東京》 市川裕三、岩崎皓三、大川宝作、坂巻國男、鈴木和久、竹川昭徳、中島義夫、和田隆  
《宮城》 野口昌志  
77人 77万円  
新卒業生同窓会費納入者  
393人 3百93万円  
年会費(1千円)納入者  
18人 1万8千円  
総計 4百71万8千円

【お願い】①同窓会費(旧終身会費)の納入には、この記事掲載で領収書代わりとさせていただきます。ご了承ください。②この欄は、平成16年4月1日から同17年3月31日までの納入の方を記載させていただきます。③掲載させていただく方は、次号に届いた経済状況のなか恐縮ですが、まだ納入されていない方は、なにとぞ納入をお願い申し上げます(事務局)。

同窓会会計監査の今西清さん(旧姓大沢、高6回、越谷市)が昨年8月10日に心不全のため逝去された。70歳(株)越の商事部長や通信販売部長を歴任。越谷支部の副支部長。

メールリクエストで  
母校等の情報が取得  
同窓会では、メールリクエストで母校の情報や部活動の成績などをリアルタイムで発信しています。左のメールアドレスに氏名、卒業回数(または卒業年)を送信してください。情報を提供します。  
kasukoh-ob@teeml.com

# バスケット関東で8強

## 3部が埼玉国体で入賞

16年度 年活 16部



高校バスケット全国大会1回戦奈良・一条高のブロックをかわして鹿野選手(11)がシュート(16年8月、島根・松江工高で、埼玉新聞社提供)

### 【バスケットボール部】

関東大会県予選1回戦 春高87 44花咲徳栄、2回戦 春高86 57大宮東、3回戦 春高64 63伊奈学園、準決勝 白岡88 73春高、第3位で関東大会出場 関東大会1回戦 春高121 46沼田(群馬) 準々決勝 世田谷学園(東京) 97 58春高(ベスト8) 全国大会県予選1回戦 春高90 64三郷工業技術、2回戦 春高103 65川口北、3回戦 春高76 62正智深谷、決勝リーグ 東和大昌平74 35春高、

春高79 66伊奈学園、白岡69 60春高、得失点差で第2位 全国大会出場 全国大会1回戦 春高81 62市立一条(奈良)、2回戦 福岡第一(84) 64春高 埼玉国体少年男子の部(2年生鹿野洵生出場) 1回戦 埼玉選抜95 94北海道選抜、準々決勝 埼玉選抜100 80宮崎選抜、準決勝 埼玉選抜83 77福岡選抜、決勝 東京選抜84 75埼玉選抜 新人戦県大会2回戦 春高100 87浦和西、3回戦 春高138 45熊谷工業、4回戦 春高109

62東農大三、決勝リーグ 白岡110 73春高、春高94 87東和大昌平、春高91 69立教新座 関東新人大会1回戦 春高95 65前橋育英(群馬) 準々決勝 八王子(東京) 76 72春高(ベスト8)

【陸上競技部】 (Hハードル、Rリレー) 学総県大会 百10 H1 奥岡真也 4百 R1 奥岡真也 棒高跳 3村松和也 ハンマー投 6大塚真之介 5千競歩 6小谷野和樹 千6百 R3 春高 総合 4春高34点 関東大会 百10 H2 奥岡真也 4百 R2 H5 奥岡真也(以上2種目全国大会出場) ハンマー投 7大塚真之介 国体県予選会 B2百 R1 後藤之毅 ハンマー投 2大塚真之介 A百10 H3 奥岡真也 県新人大会 百10 後藤之毅 2百 R1 後藤之毅 百10 H1 奥岡真也 4百 R2 春高 千6百 R4

【水泳部】 埼玉国体(川口) 少年4百 R1 リレー 3埼玉(長岡達人) 【ソフトテニス部】 関東大会県予選 三橋・高橋組ベスト16 関東大会 三橋・高橋組 全国大会県予選 団体ベスト16、個人ベスト32 県新人大会個人 三橋・佐藤組 団体春高ベスト16

【体操部】 関東大会第二次予選 個人総合 9吉田昌史(関東大会出場) 学総県大会 団体10、個人総合 13吉田昌史 関東大会県第一次予選 団体3

【サッカー部】 関東大会県予選1回戦 浦和1 0春高 全国大会県予選1回戦 春高2 1本庄東 2回戦 埼玉栄3 0春高 全国選手権県一次予選2回戦 春高2 1三郷工業、代表決定戦 春高6 1聖望学園 二次リーグ 大宮東1 0春高、早大本庄3 2春高、春高3 2大井(得失点差で決勝トーナメント進出) 浦和東1 1春高(pk負け) 【ラケット部】 関東大会県予選1回戦 春高52 0鷲宮、2回戦 川越19 17春高 全国大会県予選2回戦 春高55 0浦和西、3回戦 早大本庄31 10春高 新人戦県大会1回戦 春高13 0川越、準々決勝 正智深谷68 17春高(ベスト8) 【バレーボール部】 関東大会県予選1回戦 春高2 0本庄東、2回戦 東農大三 1春高(ベスト16) 全国大会県予選1回戦 春高2 0三郷北、2回戦 春高2 0大宮東、3回戦 本庄第一 2 0春高(ベスト16) 新人戦県大会1回戦 越谷南2 0春高

【テニス部】 関東大会県予選団体準々決勝 浦和学院4 1春高(ベスト8)、同個人ダブルスベスト16 県選抜大会・個人シングルス三村ベスト8

【野球部】 夏の県大会1回戦 春高14 0杉戸農、2回戦 春高7 0児玉、3回戦 大宮西8 7春高

【ハンドボール部】 全国大会県予選1回戦 越谷西27 12春高 1年生大会A組1回戦 春高14 11埼玉栄、2回戦 春高11 9宮代、決勝リーグ 川口北21 8春高、浦和南18 9春高(4位)、同B組1回戦 春高15 2三郷北、2回戦 越谷西11 6春高(ベスト8) 県大会1回戦 埼玉栄29 18春高

【剣道部】 関東大会県予選団体2回戦 春高3 0川越東、3回戦 武蔵越生2 2春高(代表戦負け) 同個人戦 宮澤順喜ベスト32 全国大会県予選団体5回戦 本庄第一 1 1春高(代表戦負け) ベスト16 新人戦県大会3回戦 西武文理2 2春高(ベスト32)

【柔道部】 関東大会県予選1回戦 児玉3 1春高 全国大会県予選2回戦 鷲宮2 1春高 新人戦県大会団体1回戦 春高2 1桶川、2回戦 浦和実業2 2春高

【卓球部】 関東大会県予選学校対抗 春高ベスト8 全国大会県予選学校対抗 2回戦

【書道部】 全国国際高校生選抜書展 秀作賞・島田和幸、入選・5名 県書き初め展 書道連教育盟賞・白石一貴、推薦賞・宮島和也、特選賞・5名

【囲碁同好会】 県選手権大会団体 優勝

【新聞部】 関東大会団体 4位 県学校新聞コンクール 優秀賞

【美術部】 県高校美術展 優秀賞・薄井晶

【吹奏楽部】 アンサンブル県大会クラリネット四重奏 銅賞、同サキソフォン五重奏 銅賞

【物理部】 全日本ARDF競技大会・高校対抗の部 6位

6月4日(土)に 大宮支部の総会

同窓会大宮支部の今年の総会と懇親会が左記のように開かれる。支部内の人数が非常に多いため各会員に案内状を出すのが財政的に厳しいのでこの記事で連絡に代えさせてほしいと役員は言っている。

日時 6月4日(土) 18時 会場 さいたま市清水園 会費 1万円 申込 高橋正次支部長宅 ☎663 0306

岩槻支部総会は 7月10日(日)に 同窓会岩槻支部の総会と懇親会が7月10日に左記のように開かれる。地域の同窓生相互の交流を深めるため、たくさんのご参加を支部役員は期待している。

日時 7月10日(日) 14時 会場 岩槻区イグレッタ 会費 7千円 申込 小島利通支部長宅 ☎794 1209

## NEW 春高グッズ



特製・春高キャップ エンジマークは筆記体で Kasukoh 頒価1,500円 送料400円



特製・春高キャップ 白色、紺色マークは漢字で春高 頒価1,200円 送料400円



手作り春高コップ 白地に紺透かしで校章と同窓会名 頒価1,100円 送料400円



春高Tシャツ(白地、エンジの2種類) サイズ LL L M S 頒価1,500円 送料270円

夏の春高の普通教室は温度が40にもなるが、その学習環境を改善するため本校のPTAが県内で初めてリースの冷房設備を備えることにした。県教育局は経費を保護者が負担するという条件で認めることになったもの。

# 春高人物風土記(22)

高11回(昭和34年卒業)

学年の卒業回数に因んで名付けた「一(いちいち)会」を毎年開いているほか、年に4回ほどゴルフコンペを開く。まず教育界で活躍した主な人たちを挙げてみたい。三郷市の秋本久次さん、さいたま市岩槻区の岩崎昌蔵さん、宮代町の太田(旧姓熊倉)正名さん、吉川市の多田弘さん、越谷市の奥野明彦さん、我孫子市の服部正二さん、林(永野)友三さん、桶川市の金子忠司さん、久喜市の金子信夫さん、蓮田市の黒須雄二さん、鷲宮町の坂田(石井)勇次郎さん、野田市の林紀男さんなど。

三郷市の秋本久次さんは、在校当時、昭和33年の下関インターハイの円盤投げで47.99メートルの大会新記録で見事全国優勝。その後の県大会で、走ったこともない千六百リレーに出場し、いつ追いつかれるかという同僚の不安を見事に裏切り、百82メートルの長身を活かして他の走者を引き離し優勝に貢献。だがスタンドに帰ってきた途端足がつってしまい周囲の笑いを誘ったというエピソードの持ち主。地元の三郷中学校長や県教育委員会などで活躍し、現在は同市陸上競技協会会長。

越谷市の荒井章治さんは、(株)三越本店の広報、販売企画担当部長等を経て、三越劇場支配人を務め、芸能、演劇方面で活躍。市川新之助(現海老蔵)らによる三越歌舞伎をはじめ開場70周年記念公演、三越名人会、劇場史の編纂など三越劇場の歴史に一役する。川口幹夫元NHK会長を編集顧問に、文化・健康・自分語りの小冊子「にぎやか談話室」(季刊発行)を創刊、編集人。著書に「CARTONザ・サラリーマン」(本の泉社)。「にぎやか談話室」には、荘銀総研社長の知久富男さんが「地方経済自立の活

力」を、細谷彬さんが「医療健康」を連載執筆している。さいたま市の石井弘道さんは、昭和33年下関インターハイの三段跳びで準優勝。秋本さんや石井さん、故大木茂男さんらの活躍で本校がフィールド優勝を飾る。中央大学を卒業後、日本電信電話公社に入り、NTTスポーツクラブの役員や総務部長として活躍。退職後KYO A(株)の顧問。ゴルフの腕前は抜群。

宮代町出身の岩崎昌蔵さんは、昭和45年から同58年まで母校の英語教師。県教育委員会指導課の指導主事を経て、管理職を11年。その間、県高校英語研究会、県高校特別活動研究会等の会長と全国英語研究団体連合会常任理事を務めた。県教育功労賞を受賞。母校在職中は応援指導部や硬式テニス部等の顧問。また同窓会の支部作りや同窓会のゴルフ会の設置に尽力する。現在、同窓会ゴルフ会の会長。家裁の調停委員。さいたま市岩槻区に在住。

春日部市の小澤正男さんは、在校のころ応援団に所属する傍ら、サッカー部のマネージャーを務める。卒業後、恩師の小山俊雄先生の招きで同先生の経営する紳士服テラー丸豊に17年間勤務。その後地元で割烹「大政」を開業。低廉で美味しい料理を提供してくれているので、同窓生が交流場として大いに利用する。春日部市の開発の關係で惜しまれながら閉店したが、いまだに懐かしがる同窓が多い。

越谷市の大野光政さんは、生粋の越谷っ子であり、春高っ子(と言う言葉は造語すれは)である。在学中は祖父・伊右衛門さんが第二代の同窓会長を務めており、父も粕中卒という環境だった。早大法

学部を卒業後、埼玉銀行に入学。その後、志すところがあり市内で楽器店を経営、2店目も新越谷駅前に出店している。近年は国際交流に力をつけ、ロータリークラブ等でオーストラリアと交流。昨年11月の読売新聞副版に活躍ぶりが大きく報道された。

野田市の小林逸雄さんは、中央大学を卒業後、大郡建設(株)に入社。入社以来一貫して総務、人事など会社の根幹部門を担当。平成2年に常務取締役に就任。同社は、都内を中心に関東一円に支店網を展開し、国土交通省をはじめ諸官庁の発注の公共事業を主体

## 「ドラえもん」の芝山監督

### 秋本さんは円盤投げで全国制覇

春日部市出身の芝山努さんは、「ドラえもん」や「ちびまる子ちゃん」など人気アニメの監督として知られる。明治大学で演劇を学び東映動画(現東映アニメーション)に入社。その後アニメの制作会社「亜細亜堂」を設立。映画「ドラえもん」シリーズ全作品の監督、TVシリーズ「ドラえもん」のチーフディレクターを務める。現在も亜細亜堂コンテンツの代表取締役として多忙な日々を送る。「芝山努と映画ドラえもん」のび太とロボット王国「の世界」(小学館)はアニメファン必見の書。東京都台東区に在住。

宮代町の柴崎勝巳さんは、日本大学を卒業後、埼玉県庁に奉職。総務、福祉、商業振興などの分野で力量を発揮。商業観光課長、生活福祉部参事等の要職を歴任。現在は、地元宮代町の助役として活躍中。「住民とともに歩む行政」を標榜する榊原町長を助け、町民や次世代が安心して暮らせる町作りを目指して奮闘している。特筆すべきは、県産材を使用した木造庁舎の建設。日本の伝統技術を取り入れた庁舎は、住民に温もりを与え、開かれた行政を目指したものであり、マスコミでも高く評価されている。

さいたま市岩槻区の島田善司さんは、卒業後、筆記具のべんてる(株)に入社。茨城工場長、TOC推進室長などを歴任。同社のデミング賞受賞に大きく貢献。この間、日本工業標準調査会臨時委員や日本品質管理学会理事を務めた後、活性経営研究所を主宰する。シンガポールや韓国でもQCセミナーの講師を務め、品質改善活動の指導をした。趣味として始めたさつきの盆栽では多くの賞を受賞し、その方面でも有名。主な著書に「改善の進め方入門」(日本規格協会)など。

野田市の須賀武さんは、在校のころ弁論部員として全国大会に出場する。卒業後、春日部市役所に勤務。福祉部長や社会福祉協議会常務理事、福祉公社専務理事などを歴任し、環境経済部長を経て水道事業管理者を務める。勤務時代は世相反映の過渡期でもあ

り、「いかにして住民の意見を公正に行政に活かすか」に腐心し、頑張ってきたという。かたわら、手打ち蕎麦の醍醐味に魅せられ泊まりがけの食へ歩き蕎麦探訪など蕎麦道の奥義探求に動いている。

宮代町の鈴木良朋さんは、故郷を42年間離れていたが平成13年に戻ってきた。東北大学の工学部金属工学科を卒業した後、専門知識を生かせる富士製鐵(現在の新日本製鐵)に入社。海外の製鉄所の建設に携わり、中国、スペイン等に勤務したことが思い出と語る。退職後も経験を売られ、インドやブラジル等の製鉄所の増設に参加。高校時代は化学部。

今年の3月末で本校の卒業生総数が、31,264人に(旧粕壁中 4,458人、高校 23,525人、定時制 3,281人)この数字は毎年3月に加算して、本校の展示ギャラリーにある提示板に掲げ、来室の方に見てもらっています。



赤い羽織りを着て還暦を祝う高11回生 (平成12年4月 春高の昇降口で)

なく過ごせたのは人生の宝物」と回顧する。現在は、松永建設グループの松永都市開発(株)で取締役として活躍中。同窓会岩槻支部の会計や陸上部OB幸風会の事務局長、「いちいち会」の会計を務めている。越谷市の高橋紀さんは、明治学院大学を卒業後、埼玉県信用農業協同組合連合会に入り、農業界一筋の人生。動機は父親が永く杉戸農高の教諭だったので、第一次産業である農業の重要性、将来の展望などを幼いころから見聞していたからだという。連合会では企画管理課長、春日部支店長、本店営業部長や監査室長を歴任。若者の農業離れ、後継者難などのいくつかの難題に直面したが、豪放磊落な性格と真摯な対応で難局を打開してきた。特に後継者の指導力は高く評価されている。

杉戸町出身の高橋靖さんは、高校時代は野球部の4番打者。3年時の第40回記念大会で、川越初雁球場で記念大会第1号のホームランを左翼席に打ち込む。卒業後春日部市内に

ガソリンスタンドと東埼玉マリイガスを開業。時代の変遷と同業他社との競争に勝つためイハシ関連グループ3社を併合。同社の代表取締役会長として昭和シェル代理店としての礎を築く。春日部西口ターミナルの会長を歴任。同級生の会「一い会」の代表。ゴルフは千葉CCのシングルプレーヤー。春日部市に在住。幸手市出身の竹内彰さんは、兄がメンバーだった紫CCに大学生のころから行ったことのある大のゴルフ好きだが、現在はなかなか百を切れないとこぼす。立教大学社会学部を卒業後、洋書輸入の専門店(株)イエナに入社。東京駅前の(株)八重洲ブックセンターの洋書部門拡大を機に同社に転じ、国際部長として洋書の輸入・販売に携わってきた。高校のころは化学部、写真部。東京都中野区に在住。

さいたま市岩槻区の常見寿久さんは、在校時代は柔道部に所属。2年生の時から各大会で先鋒や副将として活躍。地元の都館の3代目として、奥さんや息子さんと商売に精をだす。高11回の同窓会等の二次会の定宿として、たくさんの人から親しまれている。幸手市の中村建也さんは、本校創立百周年記念事業の加藤楸邨の句碑建立に尽力。慶応義塾大学を卒業後、音響輸出メーカーの(株)クラウンに入社。輸出入の業務に精通していたので昭和55年に独立し、東京・浜松町の世界

貿易センター内に(株)昭和インベックスを設立して代表取締役社長。主にヨーロッパからタイトルや大理石等を輸入。札幌の大丸デパートのほぼ全フロアにタイトルを納品。また神奈川県鎌倉芸術館などへ優れたタイトルや大理石を納めるなど、今も多忙な日を送っている。杉戸町の永塚和也さんは、同級生では知らぬ者なしの有名な。創成期の春高相撲部で大活躍。昭和33年の学総県大会と県民大会の個人戦で、見事連続優勝。インターハイに出場。日大土木部に進み、家業の(株)大葛建設の社長を務めるかたわら、同町の商工会や法人会の役員を歴任。杉戸中央ロータリークラブの初代会長を務めるが、数年前病に倒れ、現在自宅で療養中。庄和町の鳴島武さんは、在学の際春高陸上部の全盛時代を築いた一人。日本大学土木工学部を卒業後、家業の東武建設(株)に入社。地元進出のための努力が評価され、昭和57年地域から推挙されて町議会議員に当選。以来連続6期、その間3回議長を務めた。一方昭和62年から農業振興のための県営ほ場整備事業を発足させ、現在土地改良区の理事長として土地改良事業に率先して取り組んでいる。極めて温厚で篤実な性格なので地元

の信頼が厚い。本校同窓会の本部役員。庄和春高会副会長。白岡町の西川信行さんは、埼玉大学文学部を卒業後、東京電力に入社。火力発電の水質管理や新鋭火力発電の新

設に携わった後、本社で燃料設備の計画を担当。その後研究所で燃料電池や地球環境の研究に専念し、所長を務める。環境問題対策の第一人者として各種学会での論文発表で論陣をはる。現在、都市サービスの常勤監査役。主な著書に「人類とバイオ」(東京テクノ・フォーラム)や「Global Environment Protection Strategy Thermal Engineering」(Hemisphere Publishing Corporation)等がある。白岡町出身の野本享さんは、東北大学薬学部大学院に進み、助手、助教を務めて、その間2年間イスラエルに留学。恩師が(株)サントリー生物有機科学研究所に招聘されたのを機に、関西の地に移り住み、転身した。昭和47年に薬学博士号を取得。平成9年東洋大学生命科学部の新設時に教授となり、現在も活躍中。さいたま市に在住。茨城県五霞町出身の宝珠戸康夫さんは、上智大学外国語学部を卒業後、笹川グループ会社に就職し、栗橋町に移住。海外との輸出入取引に従事する傍ら、笹川ファミリー関連企業のゴミ処理等を主に担当。台湾現地法人・製鉄原料のフエロシリコン製造販売会社の社長に3歳後半で就任。台湾時代は、生きた中国語を勝手に独学。夜な夜な台湾のネオン街に出掛け、ピチピチ小姐に教えを仰いだという。だが夜間に学んだ中国語は昼間は「いまいちだ」と嘆く。その後グループ企業の取締役管理部長等を歴任。栗橋地区春高会監事。

白岡町の細井欽作さんは、中央大学を卒業後、埼玉銀行に入行。金融界一筋の人生。国際部外国資金課で外国為替ディーラーとして国際金融戦略を担当。春日部西口支店、越谷、行田、あさひ銀行川越支店長を歴任。平成5年あさひ銀行取締役大宮支店長に就任。同7年に同常務取締役埼玉業務本部部長、同9年に同本部長。あさひ銀行退任後は、あさひ総合サービス(株)や昭栄保険サービス副社長に就任。現在は昭和(株)顧問。本校同窓会副会長をはじめ中央大学南埼玉門会副会長、中央大学講師など十指に余る役職に就き、多忙な日を送っている。春日部市出身の細谷彰さんは、地方の勤務医を経て、東京中野でクリニカル南台を開業。地域の人々に信頼が厚く名医と知られる。同級生たちが発行する季刊誌「にぎやか談話室」に連載もの「医療健康」を執筆中。在校のころ将来は医者になると言うのを級友たちはよく聞いたという。家が商家だったので商売の手伝いに駆り出され受験勉強に専念できない。意を決して家を飛び出し、仙台行の最終列車に乗り、その予備校に入ったという。東北大学医学部卒業。三郷市彦江の町田武さんは、「少しは同窓生に役立つかな」と思っていることがあるという。凸版印刷(株)の営業の責任者として訪問していたJR関連の広告会社で、ある日記憶にある顔が部長席に座っていた。春高出身だろうかという。高10回卒の

本多三千男さんだった。「東京でも春高会を作りませんか」と投げかけたのが、東京春高会の発端になったと語る。退職後は、三郷市の教育委員を務めている。さいたま市岩槻区出身の松永勝治さんは、化学畑一筋に歩んできた人。中央大学理工学部工業化学科を卒業した後、東洋大学工学部応用化学科の助手に採用され、その後助教から教授に。工学博士。主な著書は「機能性ポリウレタンの基礎と応用」(シーエムシー)など。川越市の都市計画審議会委員(環境担当)を平成12年から務めている。趣味は、学生や院生たちに手料理を食べさせること、究極の漬物作り。川越市に在住。越谷市の武蔵信男さんは、三菱商事工作機械(株)(現三菱商事テクノス(株))に勤務時は、営業を担当し福岡をはじめ群馬、埼玉の営業所長を経て、本社営業第一部長。退職後は同窓会ゴルフ会の事務局を担当して繁雑な仕事をこなしている。また、同期生の有志が発行している季刊誌「にぎやか談話室」の事務局も引き受けている。地元の自治会役員を務めるとともに、越谷市スポーツレクリエーション推進委員となりソフトボール部会長として地域の活性化に尽力。携わるなど会員からの信望も厚い。幸手市出身。

この企画記事は、該当学年の有志が協議して掲載する人を決めて、取材し、編集人と一緒に記事にしたものである。(文責：中村行生)

責任者としてシンガポールに駐在。現在は地元で民生委員等で地域社会に貢献。ドイツ事情に精通。ゴルフ、ハイモ二力など趣味も多彩。草加市の吉田武峰さんは、千葉大学工学部建築学科を出た後、(株)大林組に入社。工事事務所長を務め、携わった新築の建物は30を数える。印象に残るのは千代田区神田淡路町に建てた、東お茶の水ビルだという。地下鉄丸の内線が現場の中に、地表すれすれの地下60mを走る難工事。様々な条件を克服し竣工、建築家冥利につきる現場だったという。趣味の俳句に余念がなく、NHK全国俳句大会で入選。

定10回(昭和34年卒業)

宮代町の野口秀雄さんは、東武酒販(株)専務取締役を経て平成4年宮代町議会議員に初当選以来、同議会の副議長、監査役、総務・文教厚生・広報などの各委員長を歴任。また同町のライオンズクラブ会長、商工会理事など多くの要職を歴任。同町の「まちおこし」として、ワイン、ブランド、清酒などの特産品を開発して町に貢献する。現在は本校同窓会本部役員、宮代春高会の事務局長として会の運営はもとより、会報の発行に携わるなど会員からの信望も厚い。幸手市出身。

同窓会事務局の名を騙り、携帯電話の番号や勤務先等を聞き出す二セ電話が横行しています。事務局が住所などを確認するときには必ず文書で会長名をお願いしています。事務局の電話048 760 1627かどうか確認してください。

優勝は遠藤10回(20回)と  
んと岩崎(11回)と

同窓会ゴルフコンペ

第52回同窓会ゴルフコンペ

(16年11月2日千葉C(川間)

優勝 遠藤亮郎(10回)

2位 齋藤勝彦(13回)

3位 岩崎昌蔵(11回)

4位 金子亮爾(7回)

5位 大高九一(14回)

6位 春田義隆(12回)

7位 吉田攻(13回)

8位 瀬田隆司(7回)

9位 瀬上節夫(13回)

10位 島村浩(13回)

B G 細井喜久雄(20回)

77合計12人

なおチャリテイホールを設

けて新潟県中越地震救援金を

募り、9万円を毎日新聞社

会事業団を通して送金。

第53回同窓会ゴルフコンペ

(17年4月7日紫C(あやめ)

優勝 岩崎昌蔵(11回)

2位 高林隆(2回)

3位 鈴木

木幹夫(13回)

4位 石井弘

道(11回)

5位 水野洋

20回)

6位 新井洋一(14回)

7位 高橋明(5回)

8位 吉田武峰(11回)

9位 小

系博(7回)

10位 鈴木武司

(13回)

B G 細井喜久雄

### 「主な歴史」を掲示

#### 春高展示ギャラリーに

春高の展示ギャラリーには、100年の歴史を物語る多彩な資料が同窓会によって展示されているが、ひと目で本校の歴史が判るものがなかった。そこで、下記のような「春日部高校の主な歴史」という掲示物がこのほど作成され展示されて、来訪者によく読まれている。

#### 【春日部高校の主な歴史】

- 1898年(明31) 埼玉県第4尋常中学校として設立許可
- 1899年(明32) 埼玉県第4中学校と改称現在地に開校、生徒定員500名、校舎落成
- 1900年(明33) 剣道部・柔道部が創部される
- 1901年(明34) 埼玉県立粕壁中学校と改称
- 1902年(明35) 野球部が創部される
- 1903年(明36) 第1回卒業証書授与式を挙行(卒業生20名)
- 1905年(明38) 『校友会会報』(現在の生徒会報)の創刊
- 1907年(明40) 校歌制定(現在の校歌は大正12年ごろ普及)
- 1923年(大12) 大地震により校舎大破、雨天体操場半倒壊
- 1925年(大14) 軍事教育実施のため配属将校が着任
- 1928年(昭3) 現在の校旗を制定
- 1943年(昭18) 太平洋戦争の激化に伴い生徒の勤労動員が拡大
- 1948年(昭23) 埼玉県立粕壁高等学校と改称
- 生徒定員900名
- 定時制を設置、生徒定員600名
- 1949年(昭24) 埼玉県立春日部高等学校と改称
- 1953年(昭28) 出火により木造校舎の大半を消失
- 1955年(昭30) 鉄筋4階建て校舎竣工
- 1957年(昭32) 天象部、旧ソ連の人工衛星観測に成功
- 1964年(昭39) 県民体育大会で運動部が総合5連覇
- 1969年(昭44) 囲碁同好会が個人戦・団体戦ともに全国制覇
- 1989年(平1) 高校生急増に伴い33学級、生徒定員1573名
- 1999年(平11) 地上4階建て地下1階の現校舎竣工
- 創立100周年の多彩な記念事業と式典を挙行
- オーストラリア・メルボルン高校と兄弟校締結(実物はたて書き)

#### 【賛助金納入者学年別一覧】

平成14年5月20日～同17年3月31日

総額	1,130名	12,093,014円
14年度	619名	6,733,014円
15年度	296名	3,120,000円
16年度	215名	2,240,000円

卒回	人数	卒回	人数	卒回	人数	卒回	人数	卒回	人数
高5	52	高22	14	定4	5				
高6	49	高23	20	定6	6				
高7	52	高24	20	定7	3				
高8	55	高25	11	定8	1				
高9	34	高26	11	定9	1				
高10	31	高27	14	定11	1				
高11	35	高28	17	定12	2				
高12	36	高29	13	定14	2				
高13	28	高30	18	定21	1				
高14	30	高31	9	定33	1				
高15	25	高32	21	岩1	1				
高16	15	高33	13	岩4	1				
高17	19	高34	13	岩6	1				
高18	19	高35	10	家3	1				
高19	19	定1	2						
高20	19	定2	2						
高21	17	定3	6						
中26	2	中36	7	中46					
中27	2	中37	7	中47	48				
中28	0	中38	9	中48					
中29	2	中39	15	併1	3				
中30	4	中40	7	元校長	2				
中31	6	中41	15	推薦	3				
中32	6	中42	19	高1					
中33	1	中43	20	高2	34				
中34	9	中44	21	高3	46				
中35	7	中45	20	高4	33				

中46は中45に  
中48は高2に  
高1は中47に

(20回)75 合計1166人  
次回は、10月27日(木)です。

（丸善出版事業部）『続・生活環境病 予防と対策』（史輝出版） 旧教員・小川洋一、吉開知治ら12名共著『地域を見る 埼玉のくらしとまちづくり』（帝国書院）

資料提供者 16年度  
中43回・長野統一、埼玉県郷土地図「コビー」（昭和18年に本校で使用した教材）高14回・岩上孔昭「粕中時代の白地図」高19回・今井康隆「粕壁中学校学校要覧」高19回・山本和雄、楽器寄贈

栄、鈴木幹夫、田中経郎、高6 秋谷行男、島村慎市、鈴木和夫、藤倉清、松永功、松本周三、高7 新井武治、飯島生穂、伊草陽理、岩瀬正吾、岡田稔、木村恒夫、栗原格直、鷲谷隆、篠崎博永、鈴木光男、鈴木稔、関根初太郎、染谷昭一、高柳敏郎、中島義夫、中村正男、野本晴男、橋本清、浜田昌彦、平野常夫、増田茂之、山口武雄、和田信郎、渡辺久

高15 加藤勝、齋藤征夫、鈴木光一、関根静男、戸田惣一郎、宮崎男、橋本敏行、平野剛志、本多捷治、吉澤浩司、高16 松村育男、高17 遠藤隆雄、田中由夫、橋本久雄、高18 金子作蔵、中川喜介、高19 金子健二、栗原正己、小林秀樹、高20 卯原義夫、榎本正、小島省三、滝川武則、松村文男、高21 石井孝、片山信康、高22 須賀隆夫、高23 秋山竜三、加納知明、高24 本多浩、松井孝司、川村良一、鈴木克則

増田勝市、山崎敏郎、高26 石田耕司、染谷行宏、三橋洋一、御代田和典、高27 大塚嘉一、梶原浩、清水稔之、高橋正幸、渡部典生、高28 大竹真、野口浩一、高30 齋藤恒久、高31 石山育朗、高32 上野雄一、高33 卯田昭夫、堀内俊夫、清水治、野本和宏、高34 大塚隆治、岡田吉郎、植木信秀、大下方聖信、加倉井誠、木塚雅貴、木下博信、桑原隆、西川正樹、和田隆、定1 染谷洋、定2 並木淳、定6 根上弘子、定7 石塚正明、定8 山下明二郎、増田武夫

#### 6月11・12日に

#### 第49回の春高祭

第49回の春高祭が、6月11日(土)12日(日)に開かれる。今年のテーマは「春高ガチン」祭と決まった。10日(金)の生徒対象の講演会は、高21回卒の岩間一雄・京都大学大学院教授(情報学研究所、幸手市出身)を招いて行われる。同窓会は、食堂2階の展示ギャラリーで開校以来の諸資料を公開するほか、新しい春高キヤップやコップ、Tシャツ等のグッズを販売する。

- 横川邦夫
- 中47 石塚忠夫、小林栄夫、佐藤貞夫、篠原貞夫、真藤伸夫、杉橋徳三郎、春山堅、吉田忠夫、渡辺和夫
- 中48 稲村光雄、中畑芳夫
- 併中1 関根正一、田中稔、久本誠二
- 推薦 齋藤栄一、島村進二
- 高2 深井清司、山岸敬一
- 高3 荒井英夫、加藤功、木村松幸、佐藤宣夫、田中啓一、野中康弘
- 高4 飯塚行雄、北島豊、齋藤信義、菅沼尚雄
- 高5 小澤嘉一、古飯塚末
- 高9 相島英雄、荒井智、飯塚教夫、奥村一光、河辺栄、田中恵三郎、高橋弦、高橋禮次郎、竹川愨司、野口卓也、増田信雄
- 高10 今井宏益、會田俊雄、小林祥男、関根弘
- 高11 石川辰男、奥隅稔、小澤正男、小峯紀文
- 高12 石田孝作、小幡博明、角田功、近藤俊一、中村晋也
- 高13 新井貴美夫、石塚哲夫、石山輝雄、岩上輝夫、松本津紀雄、松本三千雄、古旗勲
- 高14 新井猛志、池田和之、泉武男、老沼寿男、大木伸男、金子重夫、菊地正孝、齋藤篤雄、逆井甚一郎、本沢栄一